

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	10-11																																							
PDCA	主要事業名	被災地ボランティア派遣事業	部課名	総務部防災安全課	担当	藤井																																									
					内線	285																																									
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 防災・減災 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 319 千円 会計 一般会計 歳出科目： 08.01.05.02.66							目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																							
	事業概要等	事業概要： 被災地へのボランティア参加を推進し、災害ボランティア経験者を増やすことで、半田市に災害が発生した際に、地域住民による迅速・柔軟な災害対応、復旧活動ができる組織づくり、体制強化を図る。																																													
		事業目的： 地域住民による迅速・柔軟な災害対応、復旧活動ができる組織づくり、体制強化を図る。																																													
		事業内容： 被災地へのボランティア参加を推進するため、必要な移動手段を整備する。																																													
		問題点・課題等：																																													
	予算額	主要事業とする理由																																													
	319 千円	地域防災力の向上を推進する上での主幹事業であるため。																																													
	財源内訳																																														
	市費	得られる成果																																													
	319 千円	被災地での復興を体感することで、地域住民の防災意識の向上、共助の体制づくりにつながり、地域の防災力がさらに高まる。																																													
	国費																																														
	0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">被災地ボランティア派遣事業事前登録者数</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>100</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							目標値や目指すべき状態		令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	被災地ボランティア派遣事業事前登録者数	実績値	—	—	—	人	目標値	—	—	100	人		実績値					目標値					その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態								令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位																																			
	被災地ボランティア派遣事業事前登録者数	実績値	—	—	—	人																																									
		目標値	—	—	100	人																																									
	実績値																																														
	目標値																																														
その他	実績値																																														
	目標値																																														
0 千円																																															
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果																																													
	0 千円	新型コロナウイルス感染症の影響により被災地の県外ボランティア受入れが派遣が実施できなかったが、ボランティア派遣事業を組み立て、災害が発生し本市ボランティアを受入れ可能な際には、速やかに派遣できる体制を整えた。また派遣後は、自主防災会等が学びを共有する体制を整えた。																																													
		成果指標				令和4年度	単位																																								
	派遣実施回数	実績値	0		回																																										
		目標値	1		回																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 災害ボランティア派遣を実施している半田市社会福祉協議会と調整をして、半田市がボランティア派遣する場合の協力体制を構築した。 当初、目標設定していた事前登録制から派遣できる可能性を高めるために半田市社会福祉協議会の災害ボランティア派遣と同じ募集方法へ変更し、ボランティアの受入れがあった際に募集することへ改めた。																																													
A 課題 今後の解決の方向性	今後の事業の方向性	改善推進 速やかに派遣が実行できる体制を維持していく。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、県外からのボランティア受入れが見込まれるため、災害ボランティアセンターが設置された際には情報収集を行う。																																													
	観点別評価	必要性	有効性		効率性																																										
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減 余地	ない																																										
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	ない																																										
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																													